

# Grand Cube

## Business Report

グランキューブ ビジネスレポート

2017.4.1 — 2018.3.31





## 事業の経過及び成果

当社の主要事業であるMICE（注1）につきましては、国際的な需要の増加とその大きな経済効果が注目され、各国、各主要都市において政策的な取り組みが強化されているところです。国におきましては、昨年度「MICE推進関係府省連絡会議」が設置され、MICEを支援する枠組みが整えられました。ここ大阪におきましても、2017年3月に「世界有数の高付加価値経済MICE戦略都市の実現」を目指して、大阪府・市・経済団体・大阪観光局が一体となり、「大阪におけるMICE推進方針」が策定され、積極的な取り組みが行われております。

大規模な国際会議をはじめとする大型催事の誘致は、国内はもとより国際的な都市間競争・施設間競争が激化しており、国内の他都市では積極的なMICE施設の新築・増築が行われております。当国際会議場といたしましても大阪府・市、経済団体、大阪観光局等と連携し、「オール大阪」で取り組んでいるところです。

このような経営環境のもと、当社は、大阪府から大阪府立国際会議場の指定管理者として、「大阪府立国際会議場管理運営業務契約書」（2014年4月～2019年3月）に基づき、国際会議の誘致開催をはじめとして、様々な会議・催事の誘致に向けた積極的な営業活動を展開するとともに、施設の安全かつ適切な管理・運営に努めてまいりました。

当期（第69期）に開催された国際会議は、医学系では「第93回日本消化器内視鏡学会総会」や「第82回日本循環器学会学術集会」等が、他分野では「ソルドーロ南半球 国際オリブオイルコンテスト2017」、「公益社団法人自動車技術会 2017年秋季大会」や「プラスチック成形加工学会第25回秋季大会」等、合わせて57件（数値目標50件に対して7件増・注2）となりました。特に「第82回日本循環器学会学術集会」は大型国際医学会として、中之島地区の関係施設であるリーガロイヤルホテル、堂島リバーフォーラムも会場となるなど「中之島MICEアライアンス」の先駆けとして、また「ソルドーロ南半球 国際オリブオイルコンテスト2017」はインテックス大阪が開催した「オリブオイル関西2017」と連動して開催いたしました。

国内会議では、「部落解放研究第51回全国集会」や「大阪教育大学附属天王寺小学校 創立140周年記念式典」、大学等の各医学会、在阪企業の定時株主総会、各企業の会社説明会やセミナーさらには資格試験、講習会など、様々な会議にご利用いただきました。また、展示会、イベントでは、毎年恒例となっている書道展、大阪府吹奏楽コンクールをはじめ、「大阪文化芸術フェス2017 DREAM LIVE powered by FM802」、メーカーや商社による展示商談会、在阪の大学や各種学校の入学式・卒業式・周年行事等が開催され、興行におきましても国内外を問わず多くの人気アーティストによるコンサートが開催されるなど、幅広い用途にご利用いただきました。

当期の運営状況は、国際会議を含む催事開催件数1,572件（前期比20件、1.3%の減）はやや減少、施設稼働率72.3%（前期比0.1ポイントの増）は微増、来館者数1,062千人（前期比124千人、10.5%の減）は大型催事の減少により大幅減となりました。

当期の売上高は、新規備品の整備により附帯備品使用料は増加したものの、大規模展示会等大型催事、具体的には、ホール、会議室の施設利用料収入が落ち込んだこと等により、施設利用収入1,711,460千円（前期比30,825千円 1.8%の減）、売上管理手数料収入92,717千円（前期比1,097千円 1.2%の減）、受取地代収入215,412千円（増減なし）等を加え、合計2,027,402千円（前期比30,894千円 1.5%の減）となりました。

一方、営業費用では、第14回国連犯罪防止・刑事司法会議（2020年コンGRESS）誘致等のために増加した誘致支援費21,476千円（前期比9,543千円、80.0%の増）、ホームページの改良等に伴い増加した広告宣伝費24,452千円（前期比4,902千円、25.1%の増）、人件費277,258千円（前期比4,670千円、1.7%の増）、委託費374,004千円（前期比1,117千円、0.3%の増）などとなっています。

一方、前期に比べ減少したものは、機器更新の実施時期を変更した機能強化費59,671千円（前期比△18,094千円、23.3%の減）、入札による単価契約変更や使用量削減に伴う水道光熱費228,288千円（前期比△14,110千円、5.8%の減）、催事関連費用124,971千円（前期比△4,699千円、3.6%の減）などが、それぞれ減少いたしました。これらに大阪府納付金700,000千円（増減なし）、修繕費93,212千円（前期比1,600千円 1.7%の減）、公租公課34,627千円（前期比1,710千円 5.2%の増）等を加えまして営業費用は、合計2,006,635千円（前期比40,136千円 2.0%の減）となりました。

その結果、営業利益は20,767千円（前期比9,241千円 80.2%の増）となり、これに営業外収支37,276千円（前期比1,239千円 3.2%の減）を加えた経常利益は58,043千円（前期比8,001千円 16.0%の増）、特別利益12,895千円を加えた税引前当期純利益は70,939千円（前期比16,549千円 30.4%の増）、法人税等を控除し、税効果会計による法人税等調整額を計上した結果、当期純利益は61,282千円（前期比11,046千円 15.3%の減）となり、営業利益、経常利益及び最終利益とも2年連続の黒字となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

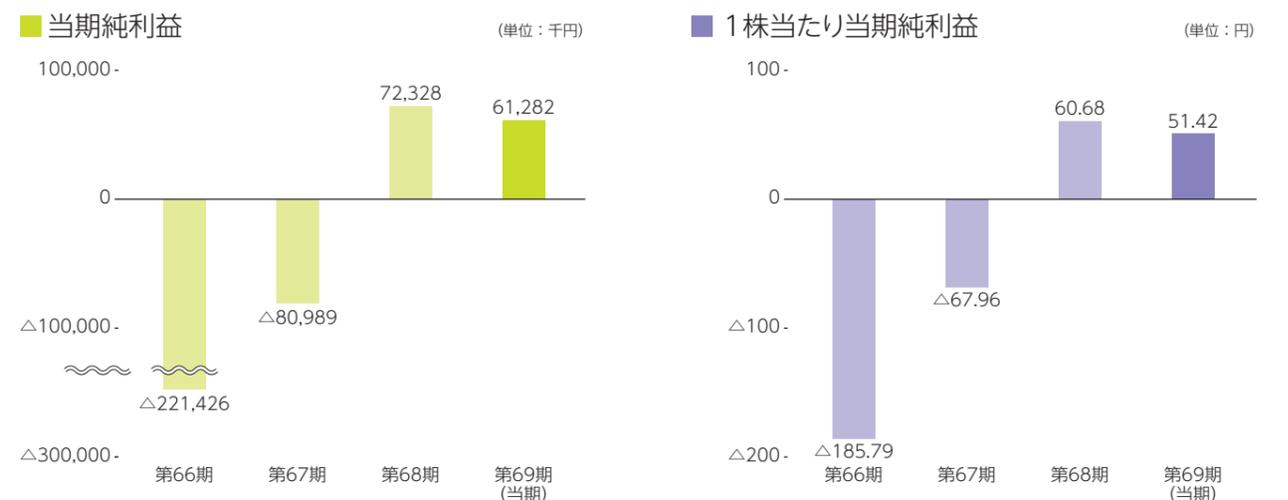
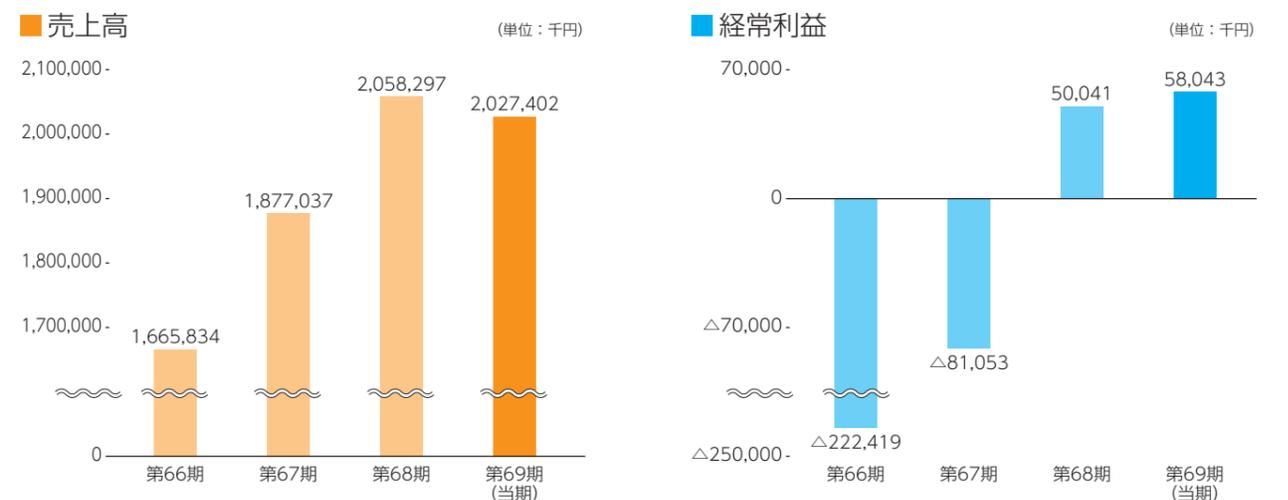
（注1）MICEとは、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称であります。Mは企業等の会議（Meeting）、Iは企業等の行う研修・研究旅行（Incentive Travel）、Cは国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、Eは展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の略であります。

（注2）国際会議の件数はJNTO（日本政府観光局）基準にて掲記しております。JNTO基準とは、①主催者が国際機関・国際団体または国家機関・国内団体（民間企業を除く）、②参加者総数が50名以上、③参加国が日本を含む3カ国以上、④開催期間が1日以上を満たす会議であります。

## 損益の推移

### 財産及び損益の状況の推移

区 分	期 別	第66期 2015.3月期	第67期 2016.3月期	第68期 2017.3月期	第69期(当期) 2018.3月期
売 上 高	(千円)	1,665,834	1,877,037	2,058,297	2,027,402
経 常 利 益	(千円)	△222,419	△81,053	50,041	58,043
当 期 純 利 益	(千円)	△221,426	△80,989	72,328	61,282
1 株 当 り 当 期 純 利 益	(円)	△185.79	△67.96	60.68	51.42
総 資 産	(千円)	5,815,789	5,668,550	5,713,677	5,795,165
純 資 産	(千円)	4,429,100	4,327,467	4,354,138	4,375,349
1 株 当 り 純 資 産	(円)	3,716.37	3,631.10	3,653.47	3,671.27



# 営業の概況

Review of Operations

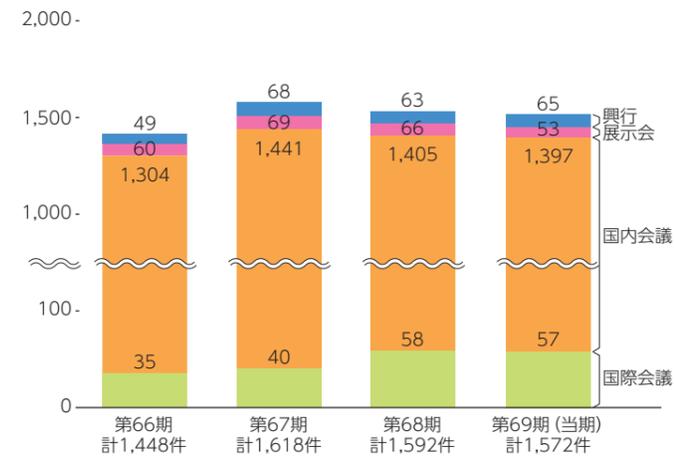
## ● 営業成績の内訳

(単位：千円)

項目	期別	第66期	第67期	第68期	第69期(当期)
施設利用収入		1,365,177	1,567,306	1,742,285	1,711,460
(施設利用料)		(1,016,340)	(1,138,408)	(1,222,015)	(1,195,454)
(備品利用料)		(235,389)	(243,070)	(265,461)	(272,788)
(駐車場利用料)		(28,293)	(30,146)	(35,407)	(31,577)
(催事関連収入)		(15,276)	(81,117)	(149,471)	(144,733)
(テナント)		(45,700)	(48,599)	(47,235)	(46,806)
(キャンセル)		(21,800)	(22,798)	(20,095)	(17,769)
(その他利用料)		(2,377)	(3,165)	(2,597)	(2,329)
売上管理手数料収入		84,289	93,412	93,814	92,717
受取地代収入		215,412	215,412	215,412	215,412
その他の営業収入		954	905	6,785	7,813
合計		1,665,834	1,877,037	2,058,297	2,027,402

## ● 催事利用状況

(単位：件)



米米CLUB コンサートにて



Academic Forumにて

## ● 施設の稼働率状況

(単位：%)

区分	第66期	第67期	第68期	第69期(当期)
メインホール ①	62.7	76.2	81.2	78.5
イベントホール ②	86.3	85.7	89.6	87.2
10階会議室 ③	73.0	83.8	86.2	83.7
上記平均(①~③)	74.0	81.9	85.6	83.1
特別会議場 ④	57.6	66.4	67.2	74.6
その他会議室 ⑤	55.6	59.4	61.4	63.2
全館平均(①~⑤)	63.2	69.9	72.2	72.3

(注) 上記稼働率はメンテナンス日年間24日、及び年末年始の休館日6日を控除して算出しております。

## ● 来館者数の推移

区分	第66期	第67期	第68期	第69期(当期)
来館者数	94万8千人	104万9千人	118万7千人	106万2千人
うち海外からの来館者数	1万3千人	1万2千人	2万人	9千人

# 財務諸表

Financial Statements

## 貸借対照表

(2018年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	2,340,925
現金及び預金	2,144,344
売掛金	66,690
有価証券	100,088
貯蔵品	973
前払費用	2,706
未収収益	8,285
繰延税金資産	18,496
貸倒引当金	△660
固定資産	3,454,239
有形固定資産	163,141
工具、器具及び備品	1,134
建設仮勘定	121,783
無形固定資産	40,222
ソフトウェア	50,170
電話加入権	5,226
その他の	366
ソフトウェア仮勘定	20
投資その他の資産	44,557
投資有価証券	3,240,928
長期預金	2,866,575
破産更生債権等	350,000
差入保証金	2,839
保険積立金	3,000
貸倒引当金	21,353
	△2,839
資産合計	5,795,165

科目	金額
負債の部	
流動負債	1,327,826
買掛金	72,858
未払費用	8,472
未払金	784,813
未払法人税等	8,304
未払事業所税	23,894
未払消費税等	11,838
前受金	399,881
預り金	1,499
賞与引当金	14,171
その他の	2,090
固定負債	91,989
退職給付引当金	83,240
長期未払金	300
繰延税金負債	8,449
負債合計	1,419,816
純資産の部	
株主資本	4,337,657
資本金	600,000
利益剰余金	3,741,767
利益準備金	137,711
その他利益剰余金	3,604,056
別途積立金	3,200,000
繰越利益剰余金	404,056
自己株式	△4,110
評価・換算差額等	37,691
その他有価証券評価差額金	37,691
純資産合計	4,375,349
負債及び純資産合計	5,795,165

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位：千円)

科目	金額
売上高	2,027,402
売上原価	1,748,273
売上総利益	279,129
販売費及び一般管理費	258,361
営業利益	20,767
営業外収益	37,276
受取利息	35,805
その他	1,470
経常利益	58,043
特別利益	12,895
投資有価証券売却益	12,895
税引前当期純利益	70,939
法人税、住民税及び事業税	11,712
法人税等調整額	△2,055
当期純利益	61,282

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 施設概要

Overview of Facility



メインホール

## ● 施設内容

最大2,754人までの収容が可能な大規模ホール

ステージ形態	▼エンド	▼フラット		▼センター		
		全体利用	2分割利用			
ステージサイズ	幅	大ホール	小ホール	27m		
		奥行	19m		15m	4m
客席数	1階席のみ	1,706	1,200	328	1,200	1,528
	1・2階席	2,754	2,248		2,248	2,576



イベントホール

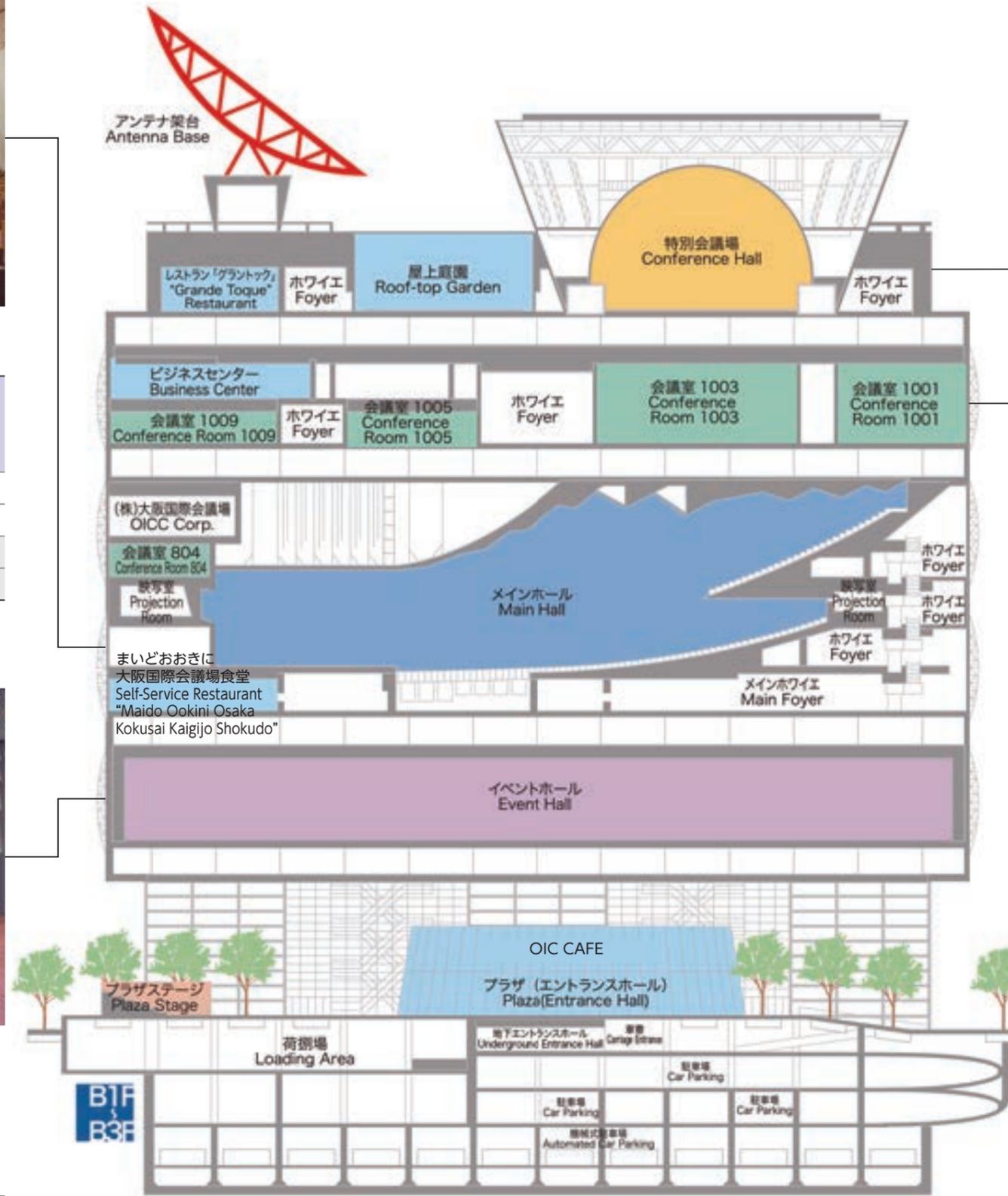
## ● 利用用途

・展示会 ・会議 ・イベント ・レセプション

## ● 施設内容

・床面積2,600㎡（2分割、3分割利用が可能）  
 ・床荷量：1t/㎡ ・天井高：9.4m

分割形態	全体利用	分割による面積例	
利用面積	2,600㎡	1,930㎡ 1,500㎡ 1,260㎡	1,100㎡ 830㎡ 670㎡



特別会議場

## ● その他会議室 収容人数データ

名称	面積 (㎡)	天井高 (m)	サイズ (m)	シタ-弑(人)	スク-弑(人)	□の字 (人)
特別会議場	393	4.6~16.8	直径22.4	414	198	馬蹄形80
1201	52	3.0	7.1×7.3	50	27	24
1202	221	4.5	16.3×13.5	220	108	72
804	64	3.0	8.2×7.8	60	36	30



1001~1003号室

## ● 10階会議室 収容人数データ

名称	面積 (㎡)	天井高 (m)	サイズ (m)	シタ-弑(人)	スク-弑(人)	□の字 (人)
1001~1003	1,010	7.7	25.5×40.3	1,044	570	—
1001~1002	366	7.7	25.2×14.4	378	216	102
1001	183	7.7	12.6×14.4	177	123	66
1002	183	7.7	12.6×14.4	180	126	66
1003	541	7.7	25.5×21.9	540	288	126
1005	101	3.0	6.9×14.5	160	63	42
1009	289	3.0	15.6×18.4	260	162	84

# 2017年度の主な催事

The Main Special Event of 2017

## 第34回箕面自由学園高等学校 芸術祭

2017年6月1日(木)

### 生徒たちの歌と演技が花開く

芸術祭は全学年のクラス対抗の合唱と、クラブ活動の芸術的活動の披露の場として、毎年開催している行事です。特にクラスで取り組む合唱は、毎年多くのドラマを生み出します。今年は3年生13クラス、校内予選を勝ち抜いた1、2年生の15クラスがステージに立ちました。走る緊張感、スポットライト、指揮者の合図。会場全体に華やかな歌声が響き渡ります。合唱の後はチアリーディング部、吹奏楽部、ダンス部、有志の生徒が登場。日頃の練習の成果が発揮された珠玉のステージには、観る者を圧倒し感動させる「力」がありました。生徒の成長が感じられる芸術祭は、今年も大きな感動とともに幕を閉じました。(箕面自由学園高等学校 教諭 佐藤 昌大様)



## DAIKO ADVANCE STAGE 2017 in OSAKA

2017年7月26日(水)～28日(金)

### 照明器具専門メーカー大光電機新製品発表会

昨年に引き続き今年も当社照明器具新製品発表会「DAIKO ADVANCE STAGE2017 in大阪」を3日間開催させていただきました。

「あなたが手がける空間に最適な照明とは？」をテーマに最新のLED新製品の展示をはじめ、「LANDSCAPE LIGHTING ZERO」と題した高品質・高機能屋外照明シミュレーション、「家元劇場2」と題した寸劇形式の住宅照明シミュレーションなど、展示方法に工夫を凝らしハード、ソフト両面で充実した楽しんでいただける展示会を目指しました。

また初日には建築家・内藤廣氏の講演会も開催し、3日間でおおよそ5,000名のお客様にご来場いただき好評を博しました。

(大光電機株式会社 関西ハウジング営業部 副部長 森 洋介様)



## ミスタータイガース・掛布雅之SEA 新春球談 vol.3

2018年1月8日(月)

### ミスタータイガース・掛布雅之氏が語る 2018年・阪神タイガース

現役時代は「ミスタータイガース」として活躍し、多くのタイガースファンを魅了した掛布雅之氏。2年間のファーム監督を経て、今年からはSEA（オーナー付きシニアエグゼクティブアドバイザー）に。

そんな掛布SEAならではの視点で、2018年の阪神タイガースの戦力分析や期待の若虎たちについて語っていただきました。軽妙洒落な掛布SEAのトークは阪神タイガース、選手、そして野球への愛にあふれ、聴く人を引き込みます。笑いあり門外不出の裏話ありの1時間半のトークショーはあっという間に終演となり、「もっと長時間やってほしい」という声が多く寄せられたほど。

今後も継続して開催していく予定です。

(Smile 代表 土井 麻由実様)



## いのち輝く未来社会のデザインシンポジウムinおおさか

2018年1月18日(木)

### “誰もが生き生きと暮らせる 健康で豊かな社会”について考える。

本シンポジウムは、大阪・関西が誘致をめざす2025年万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を大阪・関西から実現し、世界に広めていくきっかけとなることを目的に開催しました。主催者挨拶の後、山中伸弥京都大学IPS細胞研究所長・教授から、「いのち輝く未来社会の世界的意義と大阪・関西のポテンシャル」をテーマにご講演をいただきました。その後、山中伸弥氏のコーディネーターのもと、吉本興業株式会社の西川きよし氏、国際電気通信基礎技術研究所長の萩田紀博氏、奈良県立医科大学理事長・学長の細井裕司氏、ミズノ株式会社代表取締役社長の水野明人氏、WAKAZO、ONLINEプロジェクトの村上愛瑠氏の5名にパネリストとしてご登壇いただき、「いのち輝く未来社会のデザインに向けた展望」をテーマに、笑い、AI・ロボット、地域医療、スポーツ産業、若者の活躍等幅広い観点から、議論しました。(大阪府 政策企画部 企画室 計画課 富永 達也様)



## 第82回日本循環器学会学術集会

2018年3月23日(金)～25日(日)

### 全国の循環器に携わる医療関係者が大阪に集結

第82回日本循環器学会学術集会は、新しい循環器学の扉を拓くべく、未来の可能性～Futurability～をテーマとして開催いたしました。新しい循環器学の最新の情報や知見はもとより、内科、外科、小児科等との共創、次世代チーム医療や次世代の人材育成の在り方を議論し、これまでの循環器学とは異次元の未来型技術との融合発展をコンセプトといたしました。関係者も含め約18,000名に参加いただき、各講演会場にて活発な議論が繰り広げられました。また、1997年に臓器移植法が施行されてから20年が経ち、心臓移植の普遍的医療の進歩やドナー不足の社会的解決を目指して、大阪宣言「“まごころ”のおくりもの～みんなであつなごう心臓移植～」を宣言いたしました。(第82回日本循環器学会学術集会 会長 大阪大学大学院 心臓血管外科 澤 芳樹様)



## OsakaPrix全国クラシックバレエ・コンペティション2018

2018年3月28日(水)～31日(土)

### 初の4日間連続開催へ

大阪から世界にはばたく若者の育成を目指して始まった「オオサカプリ・クラシックバレエ・コンクール」が全国大会へリニューアルし、「オオサカプリ全国クラシックバレエ・コンペティション」となって4年目を迎えました。今年初めての4日間連続開催で、遠方者の受け入れ態勢も整い、全国大会としてまた一歩、踏み出すことができました。

会場の大阪市北区の大阪国際会議場・グランキューブ大阪には471名が出場し、シニアの部(高校卒業以上)、ジュニア1部(中学2年から高校3年)、2部(小学6年から中学1年)、3部(小学3年から小学5年)の4部門に分かれ、それぞれが精一杯の演技を観客の前で披露しました。

今回は3月28・29・30日にジュニア部の予選・準決勝が、最終日の31日にはジュニア部門の決勝と、シニアの部の審査、そして全部門の表彰式が行われました。

(産経新聞開発株式会社 開発事業部 清水 晶光様)



## 2017年度に行われた主なコンサート

2017年	5月	・松山千春コンサート・ツアー2017 2017/5/18～19 2017/12/4～5
	6月	・TUBE LIVE AROUND 2017迷所求跡ツアー ～My Home Town～ 2017/6/10～11
	7月	・ゴスペラーズ坂ツアー2017 “Soul Renaissance” 2017/7/1～2 ・和楽器バンド HALL TOUR 2017 四季ノ彩 -Shiki no Irodori- 2017/7/8
	8月	・w-inds. LIVE TOUR 2017 “INVISIBLE” 2017/8/5
	9月	・KAT-TUN KAZUYA KAMENASHI CONCERT TOUR 2017 The→ ～Follow me～ 2017/9/11～12 ・a K2C ENTERTAINMENT TOUR 2017 ～おせきはん～(米米C L U B) 2017/9/20
	11月	・DAICHI MIURA BEST HIT TOUR 2017 2017/11/3～4 ・中島美嘉 MIKA NAKASHIMA FULL COURSE TOUR 2017 2017/11/23
	12月	・Hideaki Tokunaga Concert Tour 2017 “BATON” 2017/12/23～24 ・日医工presents 葉加瀬太郎 コンサートツアー2017 「VIOLINISM III」 supported by Iwatani 2017/12/29
2018年	1月	・TWICE SHOWCASE LIVE TOUR 2018 2018/1/25～26



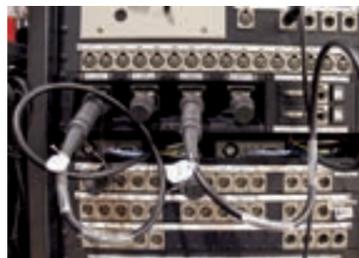
## 施設・設備の改修・機能向上

▶▶▶ 2017年度にはお客様に安全・快適にご利用いただくため、次のリニューアルを行いました。

### 大型スクリーン・映像デジタル配線設置

昨年、超高輝度を実現し、イベントやステージを鮮明な映像で演出できる「20000ルーメン」のプロジェクターを、移動用としてイベントホールや10階会議室で使用できるよう配備いたしましたが、その性能を最大限に活かすため、以前に比べ生地が細やかな大型スクリーンの更新と、映像デジタル配線工事を行いました。

この更新により、さまざまな場面で最高レベルのパフォーマンスが発揮されるものと期待しております。



### ワイヤレスマイクシステム改修

1001～3会議室・イベントホールに対し、ノイズ発生を抑制するためデジタルワイヤレスマイクシステムに更新いたしました。

これにより、混線やノイズの恐れが大幅に低減され、お客様に安心してマイクをご利用いただいております。



### 小会議室の内装壁・ドア塗装・通路照明を刷新

当会議場7・8階の小会議室は、開業18年を経過し、室内・通路ともに汚れや傷が目立っておりました。また8階通路は照明が暗いとのこと意見を複数いただいております。

そこで全室の内装壁およびドアの塗装工事とキズ防止プレートを設置し、美しく内装を刷新するとともに、照度不足解消と省エネルギーのため通路照明のLED化を行いました。



▶▶▶ 2018年度以降もさらなるリニューアルを行ってまいります。

12階屋上庭園の美装化や、メインホールの調光卓更新、デジタルサイネージ設置など、安心・快適にご利用いただくため、機能向上に努めてまいります。

## お客様の満足度向上・安全安心のための取組

### メインホール2階席座席への手摺設置

急勾配な階段になっているメインホール2階席通路側座席へ、掴みやすい手摺を設置し、転倒防止と快適な昇り降りができるようにしました。



### あみだ池筋側への施設名板設置

来館者から、当会議場西側の通りであるあみだ池筋側から見て、ここが大阪府立国際会議場であるかわかりにくいのご意見を、多数いただいております。

そこで名板を設置し、来館者に一目でアピールできるようサービス向上を図りました。



### リフレッシュコーナーの整備

地下1階エントランスに、飲料のほか菓子パンやスナックを扱う軽食自動販売機、フレーバーコーヒーなど本格的挽き立てコーヒーが楽しめるカフェマシン、飲食や休憩ができるテーブルセットを設置しました。

また、最大3名様のご利用ができる、シッティングタイプのパウダーコーナーも設置しました。角度調整可能なタッチ式ライトや間仕切りを設置していますので、女性の方が気軽にメイク直しをしていただくことが可能です。



### 電光掲示板の充実

1階エントランス正面に設置しております大型電光掲示板には、これまで各部屋の催事内容のみを表示しておりましたが、来館者に分かりやすい動線を案内するため、1階の館内案内図を表示するようにいたしました。エレベーター停止階や通路の位置など、動線がわかりやすくなったと、好評をいただいております。

また館内レストラン看板をデジタルサイネージに変更し、すっきりと分かりやすい案内に変更いたしました。



## 地域社会との共生のための取組

▶▶▶ 2017年度には以下の取り組みを行いました。

8月には、夏の恒例となりました中之島西部地域の活性化を目的とした「中之島なつまつり」を1階プラザで開催しました。

また10月には、大阪の魅力的な建築物を一齐公開する「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」へ初参加いたしました。この催しは、現在も活用されている大阪の魅力的な建物を、一齐に無料公開する日本最大級の建築イベントで、日本銀行大阪支店など通常は入れない歴史的建造物から、最新の建物まで参加しています。

当会議場は建築の巨匠、黒川紀章氏が設計したもので、メカニカルウェハーや細部までこだわりのあるデザインなど、その設計思想を体感してもらうため、一般の方は普段絶対に入れないバックヤードツアーを行い、当会議場の隅々まで堪能いただくなど、周辺地域の賑わいづくりに貢献いたしました。



## 会社概要

(2018年3月31日現在)

商号	株式会社 大阪国際会議場 (英文社名 Osaka International Convention Center Corp.)
設立	昭和33年8月9日 (Aug9.1958)
資本金	6億円 (授權資本金 10億円)
従業員数	18名
所在地	〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号 TEL : (06) 4803-5555 (代)
主要な事業内容	1. 国際会議及び国内会議並びに文化、学術、芸術等各種催物の企画、誘致及び開催 2. 内外商品等の見本市及び展示会の企画、誘致及び開催 3. 大阪府立国際会議場の会議施設及び展示場並びにこれらに附帯する施設、設備機器、備品等の賃貸及び管理運営並びに駐車場、飲食店の管理運営 4. 旅行業法に基づく旅行業
会社の沿革	1958年8月 株式会社大阪国際貿易センター設立。(当社の前身) 大阪国際貿易センターを建設・管理運営するため、大阪府及び関西経済界の共同出資による第三セクター。  1960年4月 大阪国際貿易センターが開設。 我が国初の総合商品常設展示場・催し物会場として現在地にオープン。その後35年にわたり、輸出向け商品の常設展示、紹介事業を通じて、大阪の産業貿易振興に貢献。  1994年1月 府立国際会議場の建設が決定。 現在地に、新たに第一級の国際会議が可能なコンベンション施設を府立で建設することを、府、市、関係連及び大商の四者合意。  1994年6月 当社が新たに建設される府立国際会議場の管理運営を受託することに決定。  1998年9月 商号を、株式会社大阪国際会議場に変更。  2000年4月 大阪府立国際会議場がオープン。 開業以来現在まで15年にわたり、大阪府立国際会議場の管理運営を受託。  2006年4月 指定管理者制度が導入され、当社が指定管理者として当国際会議場の管理運営業務を実施。  2008年6月 G8サミット財務大臣会合が開催。  2014年4月 新たに2018年度までの5年間、当社が指定管理者として、当国際会議場の管理運営業務を開始。

## 役員

(2018年3月31日現在)

代表取締役社長	福島 伸一	取締役	大竹 伸一	取締役	古川 実
専務取締役	谷 真明	取締役	岡本 圭司	取締役	松下 正幸
常務取締役	栗田 隆弘	取締役	加藤 好文	常勤監査役	吉野 孝義
取締役	新井 純	取締役	桑田 政美	監査役	伊藤 雄二郎
取締役	新居 勇子	取締役	寺田 千代乃	監査役	岡村 裕
取締役	井上 礼之	取締役	中野 星子	監査役	沖原 隆宗

## 株式の状況

(2018年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 2,000,000株
- 発行済株式総数 1,200,000株  
(うち、自己株式数 8,220株)
- 株主数 259名  
(自己名義株式保有の当社を含む)

## ●大株主

株主名	持株数	持株比率
大阪府	千株 600	% 50.34
株式会社三菱UFJ銀行	34	2.85
株式会社三井住友銀行	28	2.36
日立造船株式会社	28	2.35
株式会社みずほ銀行	24	2.01
関西電力株式会社	23	1.95
株式会社本郷会計	22	1.89
株式会社りそな銀行	22	1.85
株式会社クボタ	20	1.69
パナソニック株式会社	20	1.68

(注) 持株比率は発行済株式総数から自己株式数を除いて算出しております。

## ●所有者別状況

区分	政府及び地方公共団体	金融機関	証券会社	その他の法人	外国法人等(うち個人)	個人・その他	合計
株主数	1名	13名	2名	221名	0名	22名	259名
所有株式数	600,000株	130,520株	4,000株	444,560株	0株	20,920株	1,200,000株
発行済株式総数に対する割合	50.0%	10.9%	0.3%	37.0%	0.0%	1.8%	100.0%

(注) 自己株式8,220株は「個人・その他」に含まれております。

## ●所有株数別状況

区分	500千株以上	100千株以上	50千株以上	10千株以上	5千株以上	1千株以上	1千株未満	合計
株主数	1名	0名	0名	15名	13名	91名	139名	259名
株主総数に対する割合	0.4%	0.0%	0.0%	5.8%	5.0%	35.1%	53.7%	100.0%
所有株式数	600,000株	0株	0株	291,940株	85,520株	189,380株	33,160株	1,200,000株



発行

株式会社 **大阪国際会議場**

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号

Tel.06(4803)5555(代表) Fax.06(4803)5620

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

5-3-51 NAKANOSHIMA, KITAKU, OSAKA, 530-0005, JAPAN

Phone:06(4803)5555 Fax:06(4803)5620

<http://www.gco.co.jp/>

